

- 【知】自ら学び、考え、進んで行動する人
- 【徳】互いを尊重し、協力する人
- 【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 電話3399-2196

祭りは底知れぬ闇の中で行われるもの

校長 香西 雅斗

科学と自然の散歩みちでキンモクセイが香ったかと思うと、ヒガンバナが色褪せ始めました。夏は遠くなり、秋本番も間近です。

今年の夏はオリンピック・パラリンピックの夏でした。始業式で話したように、選手の活躍と共に印象に残ったのはパラリンピックの開会式『片翼の小さな飛行機』です。ストーリーと音楽・ダンスのパフォーマンスは圧巻でした。演奏一つとっても様々な方法でなされ、

正解は一つでないこと、障害の有無を超える“多様性”の素晴らしさが伝わってきました。

もう一つ印象に残ったのは、読売新聞(8/9)に特別寄稿された、作家の重松清さんの『この祭り、いつか語り合おう』です。その中で重松さんは柔道混合団体決勝後の大野選手が、勝者フランスを「**尊敬します**」と讃え、日本チームを「**誇りに思います**」と語ったことを紹介しています。今回のオリンピックの真髄をとらえたエッセー、機会があればぜひお読みください。

一方、今年の夏は前代未聞の新型コロナ感染拡大と医療危機に直面した夏でした。中瀬中でも、7月末に近隣であった子供の集団感染を踏まえ、8月前半の部活動を中止し、外部指導員についても参加をなしとしました。そして、ニュースで「過去最多」と速報が入るたびに「メダルの数？ それとも感染者の数？」と高揚感と不安で居心地の悪い日が続きました。

将来、この夏は「オリパラとコロナに揺れ動いた特別な夏」と呼ばれるのかもしれませんが。しかし、考えてみると、例えコロナがなくとも、世界には戦争があり、貧困・虐待など、目を背けられない現実があります。コロナさえ無ければ祭りに没頭できたわけではありません。

ゲド戦記3巻目「さいはての島へ」で大賢人ゲドは王子アレンに次の言葉をかけています。

「…よいか、この世に安全などというものはないし、完全な終わりというものもない。言葉を聞くには静寂がある。星を見るには闇がある。踊りというものは、いつもがらんとする穴の上で、底知れぬ恐ろしい割れ目の上で踊られるものさ。」(アーシュラ・K・ル=グウィン 作 清水真砂子 訳)

祭りは、底知れぬ闇の中だからこそ輝くのかもかもしれません。私たちは『**厳しい現実**』と『**祭りに込められた祈り**』と『**理想に向け現実を変えていく日常**』がセットであることを忘れてはならないのだと思います。

さて中瀬中学校は、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せてきたこのタイミングで、10月8日(金)の体育大会、10月30日(土)の音楽発表会という二大行事の準備を始めます。

中瀬中学校の生徒みんなで考え作っていく祭典。“ただの盛り上がり”ではなく『**厳しい現実から目をそらさず、みんなで目指す理想を歌いあげ、行事に向け、行事が終わっても、理想に向けて一歩ずつ進んでいく日常**』を目指していきます。



< ヒガンバナ >

生徒会役員選挙

9月17日(金)に行われた生徒会役員選挙には、会長に2人、2年生役員に3人、1年生役員に4人の立候補がありました。今年度は教室で、ロイロノートで配布された選挙公報を読み、チームスで演説を見ての投票でした。



<タブレットで読む選挙広報>

選出された新役員と抱負「こんな中瀬中にしたい」を紹介します。

<会長>	小野 桐佳	(2C)	「生徒の意見が反映され、のびのびと過ごせる中瀬中」
<役員>	椿 一京	(2A)	「生徒が学校の中心となる、新しい中瀬中」
	内池 美緒	(2A)	「楽しく、充実した日々を過ごせる中瀬中」
	難波 和花	(2D)	「生徒一人一人が主体となり、自らが成長できるような、中瀬中」
	森 ころこ	(1A)	「生徒全員の手でつくりあげていく、生徒主体の中瀬中」
	高尾 唯愛	(1B)	「礼儀正しく、学年をこえて親しく、笑顔の絶えない中瀬中」
	水澤 明梨	(1B)	「挨拶溢れる、他学年とも仲の良い、誰もが居心地のいい中瀬中」

中瀬中が目指す体育大会は

中瀬中学校はこれまで、「**運動が苦手な子を苦しめる運動会を行う意義はあるのか**」「**いつまで運動会を行うのか**」という最近の議論に対し、「**応援**」で答えてきました。

そして昨年度からはコロナ禍をチャンスに「**生徒が考え、生徒が選び、生徒が作る体育大会**」を目指し、学年種目だけでなく、運営にも生徒の意見を取り入れ、「**個人競技に必ず参加させる**」のではなく「**生徒が選んで挑戦する(フリーエントリー制…クラスの得点には入らない)**」を取り入れました。



<全学年の集会で実行委員が挨拶>

今年度はさらに「**水まきや用具の消毒などの準備をするのも大事な役、そういう形で、全員が参加して体育大会を作っていきたい**」という生徒の意見を生かし、基本的に生徒がボランティアとして、係に手を挙げて運営する形に挑戦します。

生徒の声も多かった、全員リレーやダンスなど、学級や学年でなければできない団体種目や演技は「**みんなで共通の体験をし、互いに理解を深める**」意味でも実施します。



<一年生 最初の学年練習>

「**挑戦する者を応援し、裏方で支えている者をみんなで認める**」

「**運動が不得意な者が、辛いことが多かったけど、団体種目・演技をやった良かったと思える**」

「**個人種目にエントリーしない者が、肩身の狭い思いをしない**」

そんな体育大会を、中瀬中みんなで作っていきます。

ここで卒業生(二人とも運動が苦手でした)の体育大会への思いを紹介します。

「**過去二年間、体育大会で活躍どころか、自分のせいで負けた、と思っていました。今年は、運動が得意な人が輝けるような手を伝えようと思っていました。**
しかし当日会場には、誰よりも声を張り上げ応援している自分がいた。
『**体育大会は誰でも輝くことができる、輝く場所である。**』」

「**『頑張ればいい』ただそれだけ。ふざけて一位になるより、真面目に走ってビリになった方がどれほどいいか、そう思えました。それほど勝負より(勝負も大切だけど)団結が大切だと身にしみました。今回はとても楽しかったです。**
でも、今回でて良かった。みんなに励まされて、全力で走り切った気持ち。今でもあの感覚は忘れません。
私は、本当は当日休むつもりでした。みんなに迷惑をかけたたくない。その思いがあり、家でも泣いてしまったこともありましたが、
結果は一位じゃなかったけど、あきらめずに最後まで全力で本場に良かった。その時、すごく嬉しく感じました。
私は、本当は当日休むつもりでした。みんなに迷惑をかけたたくない。その思いがあり、家でも泣いてしまったこともありましたが、
結果は一位じゃなかったけど、あきらめずに最後まで全力で本場に良かった。その時、すごく嬉しく感じました。
その言葉は、その時の私にとって大きな支えになり、自分のクラスを大きな声で応援することができました。
『**どうしてこんなに足が遅いのだろう?...**』
そう思いながら走っていました。けど「大丈夫、全力で走ったんだから平気だよ」と励ましてくれました。
全員リレーで自分の番が来て走った時、せつかく差を開いてくれたのに、どんだん抜かされていく自分。あの時はすごく申し訳なかった。
『**どうしてこんなに足が遅いのだろう?...**』
そう思いながら走っていました。けど「大丈夫、全力で走ったんだから平気だよ」と励ましてくれました。」

「私服がいい」という意見の紹介（抜粋）

<p>3C 関口 瑛貴</p> <p>…制服の意味は十分ある。目指してきたのは高いレベル。先輩方と、僕たちが目指すなら目標は高いほうがいい。大事なものだと思っ</p>	<p>中瀬中生が目指している自由・自立を高いレベルで行うには、大事な要素だと思っ</p>	<p>3年生の意見より、これから改革に因りていく1・2年生の意見の方が大事だと思っ</p>	<p>1A 長谷川 環</p> <p>…制服を変えて、バリエーションが増えるのなら、制服でいいが、今のままなら私服に</p>	<p>…制服も悪くないけど、個性を大事にしたほうがいい。…体育の授業や部活がなくとも、体育着で登校している人が多いいので、制服が嫌なかな、私服がいいと思っ</p>
<p>2C 深町 朱里</p> <p>…制服だと温度調節が難しい。暑いと、ワイシャツのボタンを必要以上に開ける人や、シャツを入れないなどの人がいて、かえってだらしく見えてしまっ</p>	<p>中学生は個人の自由を求めやすい年齢なので、服装くらし自由でいいのでは。しかし私服の場合、気が緩んでしまっ人が現れることは目に見えていまっ</p>	<p>1C 武信 穂乃芳</p> <p>…制服は好きな服を着れて、個性を出すことができる。</p>	<p>…制服は、差別に繋がると思っ。女性用のズボンを買えませんが、お金がかかり、買ったとしてみんなと服装が違っことで、差別を生んでしまっと思っ</p>	<p>1E 安納 貴碩</p> <p>…制服は夏に着るのは苦しい。学ランは首が苦しくなったりするなど、あまりメリットがない。…私服は好きな服でいいし、着やすい。</p>

体育大会後の10月16日（金）に、生徒会役員会が主催で昨年12月に行った様な1～3年生が混ざって話し合うグループワークを体育館で行う予定です。（例123年のA組が1時間目）

テーマは『制服と私服』ですが、どちらがいいか～便利、楽、etc.～を話し合うわけではありません。

「僕は制服のままでよいと思っ。でも、制服にしても私服にしても、中瀬生として、理想の生徒像にのっとり理由を明確にすべきだと思っ。3B 松尾 翔」という意見の様に「これからの中瀬中にふさわしいのは制服か私服か」についてみんなで考え深めていくことが目標です。



<令和2年12月に「理想の生徒像」をテーマに行った学年を越えたグループワーク>

また「お金は親が払うものなので、安易に自分たちの都合で私服がいいというのは違っのではないかな。3D 土井 柚季」という意見のとおり、制服・私服は生徒だけで決められることではありません。グループワークで深まった生徒たちの考えを受け、地域・保護者・教職員で検討していくこととなります。

3A 伊藤 未菜

…式典の際や、学校外での礼儀として、制服は必要。3A 伊藤 未菜

もしその結果、「制服が必要」となったら、次のステップは「今の制服なのか、新しくするのか」「どう制服を着こなすのか(ルール)」となります。そして“より快適な生活”だけでなく、左記の伊藤さんの意見も重要な視点です。深く考えていきましょう。
※制服と私服の併用についても“私服を着てくるカジュアルデーを設ける”など、様々な意見が寄せられていまっ。このステップになったら、あらためて紹介しまっ。

9月の中瀬中



<マナー講習(2年生)>



<下井草子育てプラザのわくわくえんにち(ボランティア部)>



<自転車安全教室～初めて全校で顔を合わせました>



<職場訪問(2年生)～このグループはオンラインでした>

【連絡】5月より続いた時差登校を終了し、10月9日(土)から4月最初の通常の時程に戻ります。

制服と私服についての生徒の考え

生徒会役員会からの呼びかけを受け、生徒たちは「制服と私服」について考え、203名が夏休み中にロイロノートを使って自分の意見を発表しました。賛成・反対を聞いたわけではありませんが、賛否を表明した者も多かったので、意見と合わせて紹介します。

	制服がいい	制服私服を併用	私服がいい	どちらかは無記載	計
1年生	32人	10人	20人	10人	72人
2年生	33人	14人	13人	6人	66人
3年生	32人	17人	11人	5人	65人
合計	97人	41人	44人	21人	203人
割合	48%	20%	22%	10%	

大まかな傾向としては、制服については“いる”が約7割、“いらない”が約2割という結果になりました。

とは言え、これは話し合いのもとになる最初の意見表明です。互いに意見を読み合い、自分の考えを深めていきましょう。

「制服がいい」という意見の紹介（抜粋）

<p>3A 阿部心</p> <p>：制服にすることでルールの複雑化が懸念されます。また、上級学校訪問の際の服装に困ります。そして、学生としての意識が下がります。地域の人も一目で学生だと分かるため防犯上も制服の方が良いと思います。</p>	<p>3B 辻野 瑛太郎</p> <p>：制服のゴウゴウする感じが嫌いな人はジャージ着ればいから私服にする必要あんまりないと思う。…あと学ランカッコイイ。</p>	<p>3B 西ヶ谷 美結</p> <p>：私服は制服より圧倒的にコストがかかるし、制服は朝急いでいてもパツと迷わず着ていけて便利だから。</p>	<p>：最初私服が良いと思って見たが制服を着て、メリットを見つけた。毎日私服のコーデを考えなくてよい。また、プライベートと公共の場(学校)とのメリハリをつける事ができる。…3B 宮丸 真依</p>
<p>3C 堀内 瑠之介</p> <p>：行事など、生徒全員が制服を着て並んでいる姿は団結感があつていいと思う。私服にすると過度なおしゃれをする人や、服装で貧富の差がでる可能性があると思う。…</p>	<p>3D 野口 葵</p> <p>：朝の忙しい日も着るものが決まっているほうが楽だと感じる。</p>	<p>3D 神田 清良</p> <p>：制服は皆が共通のものを着るので、集団で生活していることを視覚的に意識でき、互いに高め合うことができると思う。</p>	<p>2D 羽生 留菜</p> <p>：私服は、個性が表れていいけれど、おしゃれに気を使わずに勉強に集中できなくなったりすると思う。</p>
<p>2B 大野 奏斗</p> <p>：制服を残したい。行事などの時に生徒の身だしなみが整っていると中瀬中学生の自分たちを誇りに思え、周りからも中瀬中学生はしっかりしているという印象をもってくれると思う。…</p>	<p>2C 齊藤 純子</p> <p>：制服を穿くことで、学校外でも中瀬中学生として自分の行動に責任を持つ意識がはつきりし、トラブル防止にもつながる。</p>	<p>2C 瀧本 華暖</p> <p>：私服にしてしまうと、家庭間の経済格差が見えてしまうことに不安を感じる。</p>	<p>1D 高木 更紗</p> <p>：自分もそうだったが、小学生の中には、中学生になったら制服を着たいと思っっている子もいると思う。</p>
<p>2C 館野 安輝</p> <p>：制服は学校の景観が出るけど私服だと個人のセンスが出るので、制服のほうがいい。</p>	<p>1A 森 一こころ</p> <p>：新しい制服を作るのは学校の活性化にもつながると思う。</p>	<p>1B 内山 玲菜</p> <p>：家庭科でも習ったように集団意識を持つためにも大切だと思う。</p>	<p>1C 浅沼 唯花</p> <p>：私服だと買い食いなど…緩い学校とみられてしまう。…小学校とは、制服という大きな違いがあるので、中学生としてのけじめや自覚をもつことができる。</p>